

# 落書きを消して街美しく

広島市中区の本通り商店街南側の袋町、中町一帯で6日、街頭で目立つ落書きを消すボランティア活動があった。安心安全で魅力ある街にしようと、商店街関係者や住民、市でつくる「まちなかまちづくり連絡会議」が企画。2013年以降で9回目を迎え、落書き被害が減るなど成果を挙げている。（加茂孝之）

## 被害減る成果も

同会議のまちなかク  
リーンアップチームの



落書きされた壁をペンキで塗り直す参加者

メンバー約50人が参加した。約2時間半、四つこのエリアに分かれて作業。文字や記号などの落書きがひどい壁にペンキを塗り直し、エアコンの室外機はスプレーで汚れを浮き上がらせ、拭き取った。

近くの金融機関に勤める滝雅也さん(29)は「日頃安佐南区は一日頃の仕事で訪れている街がきれいになると気持ちいい。協力して作業すると楽しいし、体も温まる」と話していた。

並木通り商店街振興組合理事長で、チームのリーダーを務める下井良昭さん(68)は「消されると分かれれば落書きする人も減るはず。海外からの観光客も増える中、街を訪れる人が気持ちよく過せるよう今後も美化に

一帯では落書き被害が後を絶たず、チームは13年に活動をスタート。建物所有者の了解を得た上で年2、3回、落書きを消している。継続的な活動の結果、被害は以前ほど目立た

なくなり、活動日以外にも商店主たちがペンキを塗るなど自主的な取り組みも広がっているという。

る人が気持ちよく過せるよう今後も美化に